



**川内**  
菅公ゆかりの地で歩いて  
食べていい湯田な〜  
食べていい湯田な〜

3月1日(日)、湯田地区で「菅公ゆかりの地で歩いて 食べていい湯田な」が開催されました。参加者は、まち歩きや地元料理のバイキングを満喫。なかでも、閉校した高城西中学校では、テレビ番組風に「逃走中」が開催され、元気に逃げ回る子どもたちの歓声が響き渡りました。  
【提供】=同地区コミュニティ協議会



**舞台発表の様子**  
ありのままに今を輝く  
生涯学習フェスティバル&次世代エネルギーフェア



2月21日(土)・22日(日)、サンアリーナせんだいで生涯学習フェスティバル&次世代エネルギーフェアが開催されました。「学びでつながる 人と地域〜かがやく未来とありのままの私〜」をメインテーマに、市内各種団体による舞台発表や作品展示、親子エネルギー工作教室などが行われました。屋外では地元特産品を販売する地区コミュニティ協議会出店のブランド市や食育コーナーも設けられ、会場は終日にぎわいました。



**川内**  
地域資源を生かした  
積極的な活動が評価

吉川地区コミュニティ協議会が平成26年度鹿児島県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体表彰で、地域コミュニティ組織部門の会長賞を受賞されました。この受賞は、吉川地区内にあるさまざまな地域資源を生かした、世代間や地区外との交流体験事業を積極的に展開したことなどが評価されたものです。



**樋脇**  
鯉のぼりの泳ぐ会場で  
野下青空市開催

2月15日(日)、旧野下小学校グラウンドで「野下青空市」が開催され、買い物客で行列ができるほどにぎわいました。人気商品のしいたけ原木、手作り庭ぼうき、手打ちそば、ねったぼ、手作りこんにやくなどはもちろんのこと、ボーイスカウトによる手作りツイストパンも大好評でした。  
【提供】=野下地区コミュニティ協議会



**祁答院**  
早春の湖畔を走る  
いむた池梅マラソン大会

2月22日(日)、蘭牟田池周回コースで「第35回いむた池梅マラソン大会」が開催されました。県内各地や遠くは北海道などから415人のランナーが参加し、ファミリー・1周・2周・3週の4つのコースで、蘭牟田池の自然を感じながら快走しました。



**南九州西回り自動車道**  
「川内隈之城道路」全線開通!!



3月7日(土)、南九州西回り自動車道川内隈之城道路の薩摩川内高江IC～薩摩川内都IC間(6.7km)が開通しました。同日は都ICで開通式があり、国土交通省九州地方整備局、県、市、関係者ら約160人が参加。トラック・バス・消防車両などのパレード、パトカーが先導する通り初めが行われました。この開通により水引IC～鹿児島ICが直結し、観光・産業の発展や地域の活性化が期待されます。  
※IC=インターチェンジ



**鹿島**  
つばきマラソン大会と  
消防フェスタを同時開催

3月1日(日)、「第32回つばきマラソン大会」が開催され、地域内外から訪れた161人の参加者が、鹿島の海岸通りを駆け抜けました。表彰式の後には、地元で採れたブリやタイなどの抽選会もありました。また、「消防フェスタ in 鹿島」も同時に開催され、チビッ子絵画ギャラリーの授賞式や消防隊体験などがあり、大変盛り上がった一日となりました。



**市内各地から**  
まの話題  
総合運動公園に  
シンボル花壇が完成(運動公園町)



**災害に対する**  
意識が高まりました



▲川内小学校での訓練の様子  
▲訓練中の西山高齢者クラブ(下甌町瀬々野浦)の方々  
3月11日(水)、地震から身を守る基本行動を行う「シェイクアウト訓練」を市全域で初めて実施し、各小中学校や自治会、事業所など1万384人が訓練に臨みました。同訓練は、「姿勢を低くする」「頭を守る」「動かない」の3つの安全確保行動を行う防災訓練です。本市では、自らの身は自ら守る「自助」の意識向上を図るため、鹿児島県北西部を震源とする地震を想定し実施しました。